

# 逗子市議会議員

# さぎさか ゆうじ 活動レポート Vol.30

～無所属で活動中～



## ■さぎさか ゆうじ(勾坂祐二) プロフィール■

1970年2月14日生まれ A型 48歳 逗子市沼間1-8-2

略歴：沼間小卒業・逗子中卒業・私立横浜商工高等学校卒業（有）勾坂畳店入社  
逗子市商工会青年部部長・逗子葉山青年会議所理事長・逗子葉山建設組合青年部長  
沼間小PTA会長・逗子市PTA連絡協議会会長・神奈川県PTA協議会常任理事

家族構成：妻と長女(大学2年)次女(中学2年)長男(小学6年)

基地対策特別委員長、予算・決算特別委員長、議会運営委員会委員長

総務常任委員長 現在 三期目 教育民生常任委員長 所属会派 市政クラブ

## 30年第2回定例会報告

第2回定例会が6月8日～26日に行われました。今定例会では、平成30年度の一般会計補正

予算が提出され、可決されました。主な内容は、逗子市子ども・子育て支援事業計画の改訂に向けた保護者に対するニーズ調査に係る経費として次世代育成支援対策事業を増額、小規模保育事業所の新規開設に向けた施設整備補助に係る経費として保育所等緊急整備事業 1,836万円を計上、逗子市内一周駅伝競走大会開催に係る経費としてスポーツ推進事業を増額、その他の主な議案では、逗子市個人情報保護条例の一部改正について(可決)、逗子市災害派遣手当等の支給に関する条例の一部改正について(可決)、逗子市職員給与条例及び逗子市一般職の任期付職員の採用等に関する一部改正について(可決)、逗子市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の一部改正について(可決)、逗子市市税条例の一部改正について(可決)、逗子市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について(可決)、監査委員の選任について(可決)、その他、意見書案、陳情の審議がされました。

## 【総合的病院誘致 ～病床の確保ができず～】

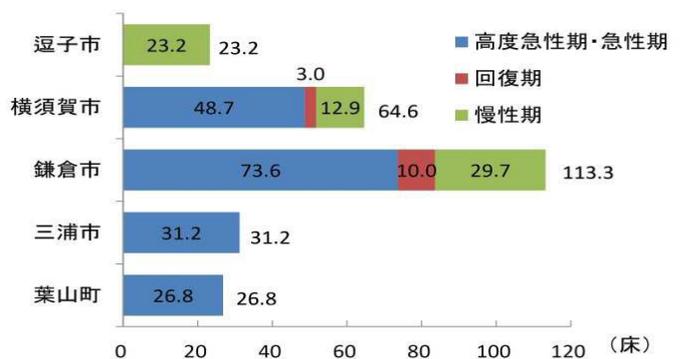
### 病床確保の可能性

今年度中の増床申請について期待していましたが、三浦半島地区保健医療福祉推進会議において、現在、既存の病院が持つ未稼働の病床が349床あることから、「病床は不足していない」との意見が出され、残念ながら今年度中の増床の目は立たなくなりました。一方、県の地域医療構想では、団塊世代が全て75歳になる2025年までに、三浦半島で病床が773床不足すると予測されています。県は、三浦半島について、毎年最新の人口と病床利用率を基に再計算し、病床数の見直しを検討することとしており、今後、病床確保の可能性はあると考えていますが、まだ不確定要素が多いと考えます。ちなみに、今回適用された算定基準を用いても、県は、2020年に三浦半島で196床の病床が不足すると試算しています。

### 病床の機能

現在、医療法人社団 葵会に配分されている109床のうち、救急に対応する急性期病床は24床にとどまっています。今後、急性期病床がどれだけ配分されるかは、地区の推進会議で決定されますが、配分結果によって、病院が担える機能は変わってきます。難題が、病院の機能は自由には決められないということです。

人口1万人当たりの入院ベッド数(病床数)



## J R 東逗子駅前用地活用事業

## 児童の登下校の交通安全対策

### ○これまでの検討状況について

29 年度に J R 東逗子駅前用地活用事業プロジェクトチーム設置され、庁内での検討の結果、2 つのパターンで報告書がまとまりました。

### パターン①:再配置検討公共施設の全てを集約

(沼間小学校区コミュニティセンター・子育て支援センター・ファミリーサポートセンター・放課後児童クラブ・親子遊びの場・福祉会館・高齢者センター・東逗子駅前公衆便所)

### パターン②:シティプロモーション及び

### 民間施設による活性化等提案し集約

(パターン①の福祉会館・高齢者センターを除いた 子育て系を中心とした施設)

### ○今後の予定について

事業を具体化していくにあたっては、地域の住民等の意見を十分に聴きとってニーズを把握することが重要です。今年の 11 月か 12 月位に地域ニーズ調査を地域住民、周辺商店会、商工会等の関連機関に実施予定。公共施設の配置並びに民間資本活用による様々な機能の検討を 30 年度実施して、基本構想の案を取りまとめていく。

### ○市民の憩いの広場として

施設整備にあたっては、これまでの広場としての機能を十分確保することを要望しています。

Q 登下校の安全対策、市に要望しているけどその後どうなっているの？

A 現在、P T A 等からの要望を一括として学校教育課で受け付けし、市の道路管理者、交通安全所管、県の道路管理者、逗子警察交通安全課及び学校教育課でそれぞれ担当している要望について点検を行い、各所管で優先順位をつけて対応しています。

Q 実現性はどの程度あるの？

A 道路標示、安全ポールの設置等がありますが、ガードフェンス、ガードパイプ等は法的な規制等もあり、設置が難しい所も多いです。

## 市内小学校 防災ヘルメット導入が進む

小中学校への防災ヘルメットに導入については、東日本大震災以降、各地で起きている主に地震への備えとして、従来の防災頭巾よりもさらに安全性を高める目的で、小中学校へ防災ヘルメット導入を教育委員会に求めてきました。現在、市内小学校 P T A の主導で、市内 4 小学校が導入されました。しかしながら中学校では、防災ヘルメットどころか防災頭巾もありません。生徒の安全性を高めるために、防災ヘルメット導入できるように要望しているところです。

## 市民の声をかたちに

沼間小学校の保護者の方々から通学路の安全対策として、県道 24 号線に横断防止柵の設置の要望を受け、近藤県議会議員の協力いただき実現しました。

(沼間小入口から福祉会館入口

までの逗子行き方面側)



皆様の声を聞かせて下さい。市政に対するご意見、ご要望をお待ちしています。

御名前

御住所

連絡先

送り先 F A X 0 4 6 - 8 7 1 - 3 5 5 2 TEL 046-871-3526 e-mail : [sagisaka@plum.ocn.ne.jp](mailto:sagisaka@plum.ocn.ne.jp)

発行責任者: 匂坂祐二(さぎさかゆうじ) ポスティング ボランティアを募集しています。御協力お願い致します。